

献辞

このたび、大久保憲章教授、村上博先生のご退職にあたり、退職記念号を刊行することができました。心から、お二人の先生に献呈させていただきます。

大久保憲章先生は、2021年3月末をもって、本学を退職され、本学名誉教授の称号を授与されました。

大久保先生は、1976年に九州大学法学部を卒業後、九州大学大学院法学研究科、佐賀大学経済学部、熊本大学法学部で研究を続けられ、2004年4月、本学大学院法務研究科（法科大学院）の創設時に同研究科教授として赴任されました。

法科大学院では、民法Ⅰ、民法Ⅲ、民法Ⅴ、家族法、民事法演習Ⅰ、民事法総合演習Ⅰをご担当されました。2017年からは、本学法学部の教員として、債権総論、家族法、民法Ⅰ・Ⅱ、基礎演習、ゼミナールなどをご担当されました。また、佐賀県消費者苦情処理委員会、佐賀県弁護士会懲戒委員会、広島市情報公開・個人情報保護審査会の委員として、社会に貢献されてきました。

先生は、「ドイツ民法典以前の性状錯誤の位置付け——動機錯誤説の成立——」（法政研究48巻1号、1981年）、「ドイツ民法典成立以降の性状錯誤論」（九大法学42号、1981年）、「動機の不法——今なおドイツ民法学に学ぶべきもの」石部雅亮編『ドイツ民法典の編纂と法学』（九州大学出版会、1999年）、「賭博のための金銭消費貸借」河内宏＝大久保憲章＝采女博文＝児玉寛＝川角由和＝田中教雄編『市民法学の歴史的・思想的展開—原島重義先生傘寿—』（信山社、2006年）など、錯誤論を中心に研究されてきました。これらに加えて、「民法412条解釈試論」（修道法学35巻2号、2013年）、「消滅時効の援用権者」（修道法学39巻2号、2017年）、「民法総則と婚姻・協議離婚・養子縁組」（佐賀大学経済論集28巻4号、1995年）、「財産分与と詐害行為」（修道法学36巻1号、2013年）などを公表されるなど、先生は広い視野をもって研究に取り組みられました。先生の厳格かつ真摯な研究姿勢は教育面でもいかに発揮され、先生の講義や演習には、法科大学院生や学生からも大きな信頼が寄せられていました。先生には、法科大学院設立時の教員として、法曹教育の基盤をつくっていただき、本学から多くの

法曹を輩出することができました。

村上先生は、2020年3月末に、本学を退職され、本学名誉教授の称号を授与されました。

村上先生は、1975年に岡山大学法学部を卒業後、名古屋大学大学院法学研究科、鹿児島大学法文学部、香川大学法学部で研究を続けられ、2010年4月から、本学法学部教授として赴任されました。本学法学部では、行政法総論、行政救済法、行政組織法、地方自治法、法律学概論、基礎演習、ゼミナールなどを担当されました。

先生は、香川大学法学部長および香川大学学長特別補佐を歴任された豊富なご経験を活かして、本学の大学運営に大いに貢献されました。学外においても、簡易裁判所判事推薦委員会、香川県弁護士会懲戒委員会、香川県介護保険審査会、善通寺情報公開審査会、善通寺市個人情報保護対策審議会、広島法務局評価委員会、広島市精神医療審査会の委員として活躍されてきました。

先生は、「ドイツ連邦共和国における計画法理論研究序説」(名古屋大学法政論集81号, 1979年), 「ドイツ連邦共和国における計画法現象の展開」(鹿児島大学法学論集19巻1・2号, 1984年), 「行政計画に対する民主的統制としての住民参加(1)・(2)——ドイツ連邦共和国の都市建設法制の展開を素材として」(鹿児島大学法学論集22巻1号 [1986年], 23巻1・2号 [1987年]) などの行政計画に関する研究を公表されたのち、広域行政、市町村合併、道州制などの地方自治をめぐる法的諸問題について精力的に取り組まれ、『広域行政の法理』(成文堂, 2009年)をはじめとする、地方自治に関する研究成果を発表されてきました。先生のご研究はこれにとどまらず、行政不服審査法、行政事件訴訟法、公務員法、環境法などに関する論文、コンメンタールや教科書を執筆されています。先生のご研究は多岐にわたりますが、いずれも、基本的人権の保障・民主主義・平和主義という日本国憲法の基本原則を、わが国においていかに確立するかという問題意識に基づくものでした。この問題意識は先生が携わられてきた教育においても、社会活動においても貫かれていました。

教育面においても、先生は行政法という難解な学問を学生にわかりやすく伝えるために、絶えず様々な工夫を重ねられていらっしゃいました。先生のゼミで、厳しくも温かいご指導を受けた卒業生が、研究者、公務員など様々な分野でご活躍をされています。

お二人の先生の本学および本学法学部へのご貢献に深く感謝いたします。
これからの一層のご健勝とご研究の進展を心からお祈りいたします。

法学部長 山 田 健 吾